

PCCJ2020 レギュレーションブック (Sporting Rrgulations -競技規則) 主な変更点

- ・ 追記情報：P2 「3.3. PCCJ 行動規範」 追加
- ・ 変更情報：P4 「4.1.1 オーバーオール」「4.1.2 プロアマクラス」「4.1.3 アマクラス」という区分に変更
- ・ 変更情報：P6 「4.2. シリーズエントリーフィー」の中に“観戦アプリ導入負担金”項目を追加。
- ・ 変更情報：P7 「5.1. 必要なライセンスグレード」
今季は他国のカレラカップシリーズとの併催予定は無いので、国際Cライセンス以上が必要な大会は10月の第11戦 F1日本GP サポートレース大会のみに変更。
- ・ 変更情報：P8 「大会日程」
- ・ 変更情報：P8 「8.1 ポイントの付与」
《上から3ブロック目》
出走者が完走扱いになる条件：75%以上はそのままに、
昨年：小数点以下切り捨て → 今年：小数点以下繰り上げに変更。
(例：15週の75%は11.25周 → 昨年は11周走行で完走。今季は12周走行で完走)
- 《上から4ブロック目》
レースの周回数が短縮または中断後再開されない場合のポイント付与規定。
昨年：規定周回の75%以上走破 100%付与、50%以上走破 50%付与、50%未満は付与なし
今年：規定周回の50%以上(小数点以下切り捨て)走破 100%付与、50%未満は50%付与
(例：15週の50%は7.5周 → 7周走破で50%成立)
ただし、その下の規定にあるように、50%未満の走行であっても、首位が2周回完了する前にレースが停止し再開されなかった、またはスタート自体出来なかった場合は、当該レースの予選順位をもとにポイント50%付与。予選が行われていなかった場合は付与は無し。
- ・ 変更情報：P9 「8.2 シリーズポイント表」
オーバーオールランキング、プロアマクラスランキング、アマクラスランキングそれぞれ個別にポイントが付与(それぞれの1位が20ポイント)され集計される(昨年までと変更なし)。
- ・ 追加規定：P12 「11.2 大会中の車両検査」
公式セッション後の車両保管実施について、これまでの規定では基本的に「レース終了後」という限定した表現でしたが、今季はこれに加えて「車検員の裁量によって予選後に車両保管を通達する場合を含む」こととなり、予選後の車両保管が実施される場合があります。
- ・ 変更情報：P13 「12.1 プレスタート」
専有、予選、決勝のためのコースインに向けて整備 TENT やピットガレージからの車両移動を行う動作をプレスタートといいます。昨年同様、移動開始順は事務局が発行しますので、スケジュールで示された時間付近に係員の合図が出たら、各チームにて順に沿って車両をリリースしてください。特に予選/決勝といった公式セッション時に当初の順で移動開始できなかった車両については、大会審査委員会の裁定の対象になりますのでご注意ください。

- ・ 変更情報：P14 「12.3 予選」
《ページが一番下のブロック》
予選セッションが行われなかった場合のスターティンググリッド順の決定方法について。
昨年まで：当該大会の専有走行の総合順位順
今年：前回レース終了時点までのシリーズ総合ランキングの順を 第1と第2レース両方に採用。

《続いて、P15 ページの上段ブロック：予選が中断し再開されなかった場合の規定》
予選セッションスタート後、7分経過する前に中断し再開されなかった場合：予選無効。
予選が行われなかった場合と同じ規定を採用。
予選セッションスタート後、7分以上が経過して中断し再開されなかった場合：予選成立。
- ・ 追記情報：P15 「12.4 スターティンググリッド」
1大会2レースのうち、第1レースがキャンセルになった場合、第2レースのスターティンググリッドは、第2レースのグリッド順を採用（第1レースをグリッド順を充てることはない）
- ・ 追記情報：P16 「12.7 スタート手順」の3ブロック目
整備テントからの車両移動によって決勝にむけたプレスタートでは、コースイン前にピット前作業エリアに一旦立ち寄りということは認められず、その挙動や様子によっては本来のグリッドを与えられない場合や、ピットスタートが通達される場合もある。グリッドへの試走も特別な通達がない限り、これまで通り1周回のみ。
- ・ 変更情報：P18 「13.2 賞金とトロフィー」
オーバーオール、プロアマクラス、アマクラスそれぞれ1位～3位の選手を対象に設定。
- ・ 変更情報：P21 「17.4 ポディウムセレモニー」3ブロック目
登壇対象クラスは、基本的に全クラスの上位選手にご登壇いただく進行を予定していますが、各大会スケジュールや大会当日の進行により登壇対象範囲が変動する場合があります。
F1大会時はこれまで通り、オーバーオール順位（総合順位）の上位3位まで。
- ・ 追記情報：P21 「17.6 インシデント」
- ・ 追記情報：P23 「17.8 ट्रॉक（走路）の定義」
- ・ 追記情報：P24 「18.2 ピットレーンの安全性」
 - (a) ピットレーン速度制限の規定はここに掲載
 - (b) ピット前作業エリアで車両の下での作業を行う場合はセーフティスタンドが必須（罰則の対象）
 - (d) 項 セッション中のピット前作業エリアへの停車は車両ノーズをピットガレージ側に45度の角度で停車すること。
(※ただし、SGT 岡山大会に限り、例年通り各チームのサービスカーもピット前に停車するため、斜め止めのスペース確保が困難な事から通常の縦列停車とする)

これらも含めて、P24～P26に記載している「安全性」に関する規定は、今一度熟読をいただき、内容についてご理解とご対応をいただき、ご参加くださいますようお願いいたします。

以上

PCCJ2020 レギュレーションブック (Technical Rrgulations -技術規則) 主な変更点

P.27

1.4 ドライバー装備品

ドライバーはプレスタートから、ピットレーンおよびコース上において車両に座っている間は、以下のFIA国際モータースポーツ競技規則付則L項に準ずるドライバー装備品を常に着用すること。

- ・ FIA Standard 8856-2000またはFIA 8856-2018規格に準拠 (した各装備品を着用)

P.28

1.4.2 ドリンクシステム

ドリンクシステムは使用を許可される。ただし、装着の前に技術検査員によって承認を受けるものとする。
(電動などのドリンクシステム使用可)

P.29

1.6.1 バラスト

バラストの搭載は可能とするが、ポルシェ純正品に限られる。バラストは、付則3に示される取付け用部品および取付け位置を遵守して助手席部分に取り付けるものとする。バラストの重量は、スペアパーツナンバーで確認することができる。

(部品番号：997.504.848.00 / 997.504.848.01 / 997.504.848.02

または991.504.848.00 / 991.504.848.01 / 991.504.848.02) (部品番号追加)

P.29

1.6.2 バラストベースプレート

バラストの有無にかかわらず、バラストベースプレートは助手席に必ず設置しなければならない。

部品番号991.504.847.7B / 991.504.847.7Aおよび991.504.847.9Bのベースプレートの使用が許可される。ベース・プレートに取付け位置に必要な穴が含まれていない場合は技術検査員と相談した後に追加できる。取付けは、付則3に示される要件を満たすために必要な位置にのみ追加できる。(昨年発行のTech-Info)

P.31

1.6.16計量エリアへの車両移動義務

エントラントは、競技期間中いつでも審査員または技術検査員の指示があった場合、競技車両を計量エリアに直ちに持ち込まなければならない。いずれの場合でも、パークフェルメルールは指示された瞬間から計量プロセスの終了まで車両に適用される。

(新規追加、記述のとおり)

P.31

1.6.17計量エリアおよび計量エリアへのルートに関する規制

さらに、パークフェルメルールは、計量エリアへのルートと計量エリア内に適用される。技術検査員に加えて当該サーキットのスポーツマーシャルとそのヘルパーのみが計量エリアに入ることを許可される。このエリアでは、車両に許される行為は、前述の人物によって許可されている行為のみとする。指示されたにも関わらず、計量のために車が提示されない場合、技術検査官によって大会審査員委員会に報告される。

(新規追加、既述のとおり)

P.32

1.11 安全装備

車両がチームエリアを離れる瞬間から車載消火器をアクティブにすること。各セッションの開始前からセッション後に車両がチームエリアに戻るまで上記を維持しなければならない。
(コースインの前に車載消火器をアクティブにすることを義務付け)

P.39

2.6 サスペンション

富士スピードウェイでの競技の場合は、フロントおよびリアコントロールアームに使用できるスペーサーの最大許容厚さは以下のとおりとする。

- フロント：10.0mm
 - リア：10.0mm
- (昨年発行のブルテン)

コントロールアームスペーサーの最大許容厚さは、大会前および大会中でもPCCJ委員会からの通知により変更される場合がある。
(新規追加)

P.41

2.7.2 ホイール

純正以外のホイールの使用は禁止とし、ホイールには純正品のタイヤ空気圧センサーを必ず装着すること。また、エアバルブキャップの使用が義務付けられる。エアバルブキャップは各セッション（専有走行または公式練習、予選、決勝）走行時にも必ず装着されていなければならない。
(バルブキャップ装着義務について具体的に記載)

P.45

2.8.3 外装（ウィンドウを含む）

アンダーカバー

フロントアンダーボディカバーは991.504.601.8B以降の部品番号のみを使用可とする。アンダーボディカバー991.504.601.8Aは、車両出荷時に取り付けられていたとしても使用できない。（付則10を参照。）
(新規追加、Gen.1用部品の使用禁止)

サイドラジエーターメッシュグリル

サイドラジエーターの小さな冷却ダクトは、当該パーツカタログに示されているように保護メッシュで覆われなければならない。また、テクニカルインフォメーション13/2018に記されているように加工された保護メッシュが許可される。
(昨年発行のTech-Info)

P.46

2.8.6 コックピット

シート

さらにパディングまたはフォームを追加・変更する場合は、ドライバーの頭部、肩部、骨盤部を守る横方向のサポートは、以下の寸法を保たなければならない。

- ヘッドサポート部：深さ230mm以上
- ショルダーサポート部：深さ180mm以上
- 座面及び腰回り：骨盤に沿って長さ200mm以上／幅150mm以上の範囲で深さ100mm以上（付則8を参照）
(昨年発行のブルテン)

P.49

2.13.1 無線機

無線機およびその他の電子機器(携帯電話等)の使用は、下記の条件のもとに許可される。

使用の制限

-F1サポートレース時は、大会期間中、公式練習を含め全車使用禁止とする。
(昨年発行のブルテン、F1サポート大会以外全車使用可)

P.49

2.13.2 データの記録

車両のワイヤリングハーネスにあらゆる追加の電子機器を接続してはならない。ただし、PCCJ委員会により許可された設置作業は例外とする。RACELOGIC製 VBOX VIDEO HD2 システムの装着は許される。装着にあたっては車両のワイヤリングハーネスの改造を伴わないこと。F1サポートレース時は大会期間中、公式練習を含め全車使用禁止とする。

(先日発行のインフォメーション)

P.54

付則2 車両ステッカー規定

指定ステッカー/指定エリア 一覧

14	2	カラー	TAG Heuer	フロントバンパー:ヘッドライト下 左右
----	---	-----	-----------	---------------------

(変更)

P.55

付則3 バラストウェイト

下図の矢印で示された箇所を、バラストのPCCJ委員会指定取り付け位置とする。

指定箇所に取り付け穴の無いベースプレートは、当該箇所への穴あけおよびタップ加工(M12x1.5)をして取り付けること。但し、図中の黄色箇所については、ボディへの干渉によりスタッドボルトが取り付けられない場合がある。その場合は黄色箇所を使用せず、他の4本にて確実にバラストを締結すること。

(図を変更、指定搭載位置を明記)

P.58

付則8 シートのパディング

(図を追加)

P.59

付則10 アンダーボディカバー

(新規追加)

以上